

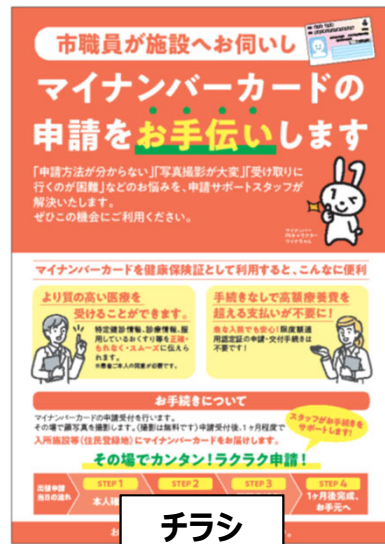
令和6年11月分フォローアップにおける先進事例

自治体において、福祉・医療等関係者への出張申請の周知や、社会福祉施設での出張申請受付等、積極的な申請促進活動を実施。

○福祉・医療等関係者への出張申請の周知 (千葉県松戸市)

概要

- ▶ ケアマネ・民生委員・病院の相談員などの福祉・医療等関係の仕事を行っている方が幅広く集まる推進会議に、マイナンバーカード担当課職員が出席し、出張申請を実施している旨の周知を実施。
- ▶ 推進会議において、福祉施設等の現場における介護保険の範囲外のサービスの中で、「入居者や利用者のマイナンバーカードの申請」が次回のテーマの一つとなることで、市の地域包括支援センターからマイナンバーカード担当課に対し、会議への出席依頼があり、参加することとなった。
- ▶ 推進会議では、マイナンバーカード担当課職員もグループディスカッションに参加し、個人宅や福祉施設等に訪問し、マイナンバーカードの申請から受取までのサポートを行っていることを宣伝しつつ、意見交換を行った。



○社会福祉施設での出張申請受付 (新潟県十日町市)

概要

- ▶ 窓口に来庁することが困難な方にマイナンバーカードを取得していただくことを目的として、市内の老人福祉施設で出張申請受付を実施。
- ▶ 施設側から入居者のマイナンバーカード申請について相談があった際に、出張申請受付を実施する旨を案内。
- ▶ 事前に打合せを実施し、あらかじめ施設側で申請者一覧を作成いただいた。また、通知カードの紛失届も事前に市から配布し、施設側で対象者分を記入しておいてもらうようにした。
- ▶ 出張申請受付当日は、写真撮影や本人確認を行った上で申請受付を行った。適切な規格の写真が撮影できなかった方（車椅子が写ってしまう方、人工呼吸器を装着している方等）に関しては、市からJ-LISへ電話で特例申請を行った。
- ▶ 完成したカードは、施設からの希望があったため、市職員が再び施設を訪問して交付した。